

遠賀

おんが
議会だより

11 2012
月号
vol.126

9月定例会

平成23年度 決算

私たちの税金は何に使われたの? 2

決算特別委員会審査報告 4

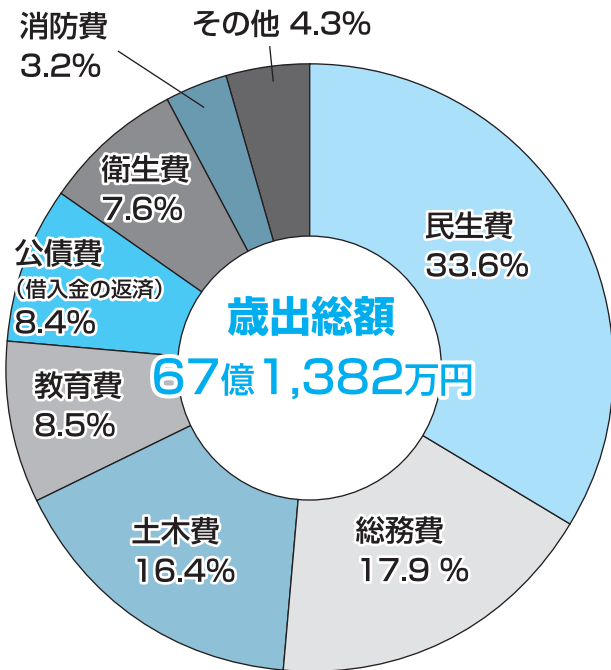
補正予算・委員会レポートなど 6

一般質問 8

全国交流レガッタ出場・傍聴席から一言 14

今古賀八剣神社おくんち
10月6日

一般会計 歳出 (万円未満四捨五入)



民生費
22億5,832万円

総務費
12億348万円

土木費
11億343万円

消防費
2億1,467万円

衛生費
5億1,217万円

教育費
5億7,202万円

其他
2億8,634万円

(内訳)
 農林水産業費 1億3,689万円
 議会費 1億2,916万円
 商工費 2,025万円
 災害復旧費 4万円

公債費 (借入金の返済)
5億6,339万円

私たちの税金は 何に使われたの？

※詳細な町財政状況は、遠賀町ホームページ (<http://www.town.onga.lg.jp>) をご覧ください。

9月 定例会

9月定例会は、3日から21日まで19日間開催された。
 議案は、平成23年度一般会計ならびに9特別会計の決算、条例の一部改正、平成24年度一般・特別会計補正予算など23件が上程され、慎重審議を行った。

平成23年度 決算認定

(後期高齢者医療特別会計 賛成多数認定)
 (そのほかすべて 全員一致認定)

平成23年度一般会計ですが、自主財源は、45.7%の決算内容は、歳出総額67億1,382万円、前年度に比べると1.8ポイントの増になっています。特別会計では、国民健康保険事業の歳出が22億8,567万円、増加した主なものは、JR遠賀川駅自由通路設置工事委託料、別府・上別府線宮ノ前橋架け替え工事に伴う増加した主なものは、高齢者の入院医療費などの増加に伴う保

険給付費と共同事業拠出金の増で、医療費の低減が大きな課題になっています。

また、町の主な財源は、町税などの自主財源と国・県からの支出金や地方交付税などの依存財源に分けられます。

監査委員指摘事項

普通会計の決算状況を見ると、^(注1)実質収支比率は3.3%と財政必須の要件を確保しているものの、^(注2)実質単年度収支は1億1,462万円の赤字になっている。

決算額は、歳入が0.8ポイント増、歳出が1.6ポイント増となっており、決算規模が拡大している。

なお、税・使用料等の徴収については、相当の努力をしているものの、さらなる収納率の向上を期待する。

また、残額の少ない基金の統合や現状に合った運用等の見直しを検討されたい。

^(注3)償却資産については、確実な把握に努められ、効率的で長期的に安定した財政運営を行い、町民の福祉の増進に努められることを期待する。

(注1) 実質収支比率

標準財政規模に対する実質収支額の割合。

(注2) 実質単年度収支

単年度収支に実質的な黒字要素(基金への積立額など)を加え、赤字要素(基金の取崩額)を差し引いた額。

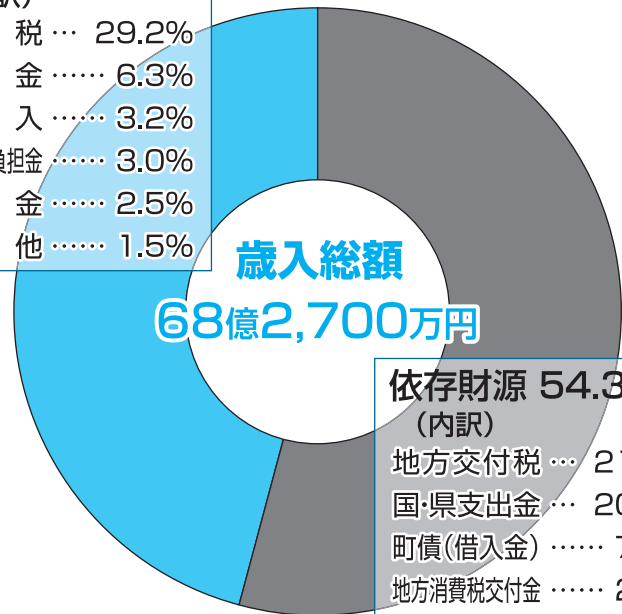
(注3) 償却資産

固定資産のうち土地、家屋以外の事業の用に供することができる資産。

一般会計 歳入 (万円未満四捨五入)

自主財源 45.7% (内訳)

町 税 … 29.2%
繰 入 金 …… 6.3%
諸 収 入 …… 3.2%
分担金負担金 …… 3.0%
繰 越 金 …… 2.5%
そ の 他 …… 1.5%



依存財源 54.3% (内訳)

地方交付税 … 21.7%
国・県支出金 … 20.2%
町債(借入金) …… 7.6%
地方消費税交付金 …… 2.6%
そ の 他 …… 2.2%

町税の税目別収入状況の推移

(万円未満四捨五入)

平成23年度 19億9,047万円

平成22年度 19億9,347万円



平成23年度 各会計歳入歳出決算一覧 (万円未満四捨五入)

会 計 名	歳 入	歳 出	差引残額	
一 般 会 計	68億2,700万円	67億1,382万円	1億1,318万円	
特 別 会 計	国民健康保険事業	23億1,729万円	22億8,567万円	3,162万円
	住宅新築資金等貸付事業	1,643万円	1,568万円	75万円
	遠賀霊園事業	4,546万円	4,244万円	302万円
	学校給食事業	1億3,996万円	1億3,985万円	11万円
	地域下水道事業	9,939万円	9,278万円	661万円
	農業集落排水事業	9,203万円	8,815万円	388万円
	公共下水道事業	5億 95万円	4億9,077万円	1,018万円
	土地取得	18万円	18万円	0万円
	後期高齢者医療	2億4,449万円	2億4,315万円	134万円

平成23年度 決算特別委員会 審査報告

9月5日～13日

平成23年度一般会計と9特別会計の歳入歳出決算について、各担当課から主要施策の成果説明書である「事業実績報告書」を中心に概要聴取を行い、予算がどのように事務事業に反映されたかを審査しました。

委員長報告

歳入のポイントとしては「経済状況が低迷する中で、町税・補助金・その他収入の確保の努力が十分になされた、その実績が上がっているか」を審査しました。

歳出のポイントとしては「目的とする事務遂行に対し、適性かつ効果的に執行され事業効果が上がったか」「予算の流用や予備費の充当は適正か」「補助金の効果は上がって



私たちが審査しました
決算特別委員会

委員長 仲野新三郎
副委員長 織田 隆徳
委員 萩本 悦子
平見 光司
加藤陽一郎
萩尾 修身

決算特別委員会での 指摘事項

次の指摘事項については、執行部で検討され、次年度で報告されます。

後もイベントとして継続するものは、別の助成のあり方を検討すべき。

指摘1

選挙の投票率が低下しているの、幅広い層に関心を持ってもらうように啓発に努めるべき。

指摘3

いきいきデイサービスは利用者が多い、他の一次予防事業と一体的に取り組み、充実すべき。

指摘4

EM菌は河川浄化の効果がなく、国土交通省から河川投与自粛の要請があつているならば、河川投与は廃止し、使用制限を検討すべき。

指摘2

がんばる地域まちづくり事業は、対象団体が固定化している。今

指摘6

配食サービスは、今後も増加すると予測されるので、別の委託先の確保を検討すべき。

町イベントとして定着した「泥りんピック」

指摘5



負担金が増加する西鉄バス

指摘10

国民健康保険事業の赤字財政の実態を町民に知らせるため、広報にシリーズ化して掲載すべき。

ジェネリック医薬品の使用について、今後も啓発に努めるべき。

指摘11

学校の門扉は、災害時の開門体制を早急に講じるべき。

指摘12

霊園事業は、返還墓所の応募が少ない。再募集を強化すべき。

指摘8

65歳のつどいは参加率が低い。今後も継続するのか検討すべき。

指摘7

国民健康保険事業の赤字財政の実態を町民に知らせるため、広報にシリーズ化して掲載すべき。

指摘9

霊園事業は、返還墓所の応募が少ない。再募集を強化すべき。



災害時の開門は？

こんな質疑も ありました

Q グループホームを今後、増やす方向性はあるのか？

A グループホームについては、介護保険広域連合が、各地域ごとに必要数を発表し、枠があれば設置している。

しかし、本町においては、平成24年度から平成26年度までは、整備枠はない。

Q 教育相談の家庭内暴力や虐待は、その後解決したのか？

A この内容については解決しづらい部分がある。

学校教育だけで解決できる問題ではないので、福祉課と連携をとって、今、要保護児

童対策協議会をつくっているの、横のネットワークを構築しながら辛抱強く、粘り強く解決していきたい。

Q ふれあいの里の中心庭は、現在花など植えてあるが、もっと視覚的に魅力ある形も必要では？

A 中庭の利用については、社会福祉協議会が計画している案が、本町に企画案としてあがってきた場合、本町の計画案とあわせて、それぞれ協議しながら対応する。



期待される魅力ある中庭

指摘 マイクロバス運転手の健康状態を把握し、事故防止に努めるべき。

改善 総合健診や病院での検診結果から、健康状態を把握している。また、アルコール検知器でのチェックを行い、安全な運転業務の遂行に努めている。

指摘 街灯は、農作物に被害が出ないように対策が必要。

改善 国道・県道に設置してある水銀灯は、照度が高く、影響が出る可能性がある。

そのため、道路管理者に対して、照明の更新時には、農作物に影響が出ない照明に変更するよう要望していく。

指摘 保育所の待機児童対策、学童保育クラブでの余裕教室の有効活用を検討すべき。



余裕教室を利用した北学童

改善 やまびこ保育園と遠賀川保育園では定数を増員し、遠賀川保育園では園舎を増築し、0歳児を含めたような体制をつくっている。

学童保育クラブは、各学校と相談しながら余裕教室を活用していく。

指摘 地区公民館にAED設置の検討を。

改善 設置する手間や経費がかかるので、町の貸出用AEDを公民館行事や地区イベント等に積極的に利用して

平成22年度 決算指摘事項 処理改善報告

いただく。
指摘 公共施設は、全般の改修計画を立て、事業を実施すべき。

改善 5カ年の事業実施計画の中で事業計上している。事業の手

法、事業の財源など、有効性や経済性を考慮しながら着実に実行していく。

指摘 教育相談業務については、相談員だけでなく、教育委員会も内容を把握すべき。

改善 教育委員会に諮る案件が生じた場合は協議案件として取り上げ、教育委員から指導・助言を受けている。

また、平成24年度から教育指導員を1人配置し、生徒指導部会を定期的に開催し、小中

連携のもと共通課題として問題解決に取り組んでいる。

指摘 コミュニティバス運行は、町民の利便性を考えた見直しを検討すべき。

改善 南北を一体的に運行する8の字路線に変更し、駅での乗り換えは必要だが、南北移動をスムーズに行えるように見直した。

また、西鉄バスと中山・中間線沿線自治体と協議を行い、西鉄バスと完全競合する路線への変更や、医療機関や商業施設前にもバス停を設置し、利便性の向上を図った。



遠賀コミュニティバス

専決処分の承認

平成24年度
一般会計補正予算
2711万円増額
(万円未満四捨五入)

(全員一致可決)

い、3件分を追加するもの。
特別保育事業補助金 118万円

補助金交付申請を行っていたが、不採択になったため、町独自の予算で補助するもの。

町民栄誉表彰条例の制定

(全員一致承認)

スポーツや文化・芸術、その他の分野で、特に優れた成績・功績を収めた人物に「町民栄誉賞」を贈り、その

第5回目の補正予算は、2711万円増額し、予算規模は61億9981万円になりました。

障害児保育の利用者が増加したため、保育園への補助金を追加するもの。

青年就農給付金 413万円
新たに4人と夫婦1組の就農を支援するため、10月から来年3月までの6カ月分の給付金を支給するもの。

【主なもの】

6次産業化推進協議会補助金 251万円

▽年間給付額
個人 150万円
夫婦 225万円

「町民栄誉表彰条例」を制定するもの。

高齢者等住宅改造助成金 90万円

本町特産品などのブランド化のために国の

「遠賀町上水道の歩み」作成業務委託料 315万円

本町の水利の歴史を含めた「遠賀町上水道の歩み」を作成するもの。

再生可能エネルギー導入可能性調査業務委託料 394万円

災害時の避難施設になる3小学校で、太陽



最初の町民栄誉賞受賞者は
もちん 鈴木聡美選手!

広報調査特別委員会
レポート

8月6日～7日



幸田町の視察風景



大口町の視察風景

今年度は、議会広報全国コンクールで表彰された愛知県の幸田町と大口町に行きました。

両町では、お互いの議会だよりを参考にしながらの意見交換を行いました。本町の議会だよりについては、私たちが早急にアンケートを実施し、読んでいただけの広報誌を目指したいと考えています。

会だよりについては、①記事にメリハリがない②記事の中の写真が小さすぎる③デザインの工夫などの貴重な意見をいただきました。また、両町議会では、町民の皆さんに議会だよりについてのアンケートを行って、誌面づくりの参考にしているとのことでした。

人事案件

職員懲戒審査委員会委員

(全員一致同意)

任期満了に伴い、再度推薦するもの。

中西 俊博さん(小倉北区)

中村 優美子さん(中央)

行事 和美さん(岡垣町)

▽任期

平成24年10月23日から

平成26年10月22日まで

教育委員会委員

(全員一致同意)

任期満了に伴い、再度推薦するもの。

川淵 清美さん(今古賀)

紀成 慶子さん(東和苑)

▽任期

平成24年11月11日から

平成28年11月10日まで



改修される屋内運動場

光発電システムの導入に対する可能性を調査するもの。

ふれあいの里工事費
1630万円

省エネシステム構築業務委託料
315万円

屋内運動場の人工芝生の劣化と地盤沈下に伴い、人工芝をクレイ舗装に変更し、ゴミチップ舗装をしたス

意見書

書 拉致問題に関する意見

(全員一致可決)
(関係機関に送付)

政府は現在、17人を

北朝鮮による拉致被害者として認定していませんが、それ以外にも、いわゆる特定失踪者を含む多くの未認定被害者が確実に存在することを認めています。拉致問題は、わが国に対する重大な主権侵害であり、かつ許し難い人権侵害であることは言うまでもありません。政府は、今年を拉致問題解決の年として、全勢力を傾けてすべての拉致被害者を早急に救出するよう強く要望します。

賛否が分かれた議案 (○：賛成 ▲：反対 欠：欠席)

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
会議名		浜岡	萩本	織田	二村	仲野	平見	加藤	中野	萩尾	三原	古野	堅田	舩添	奥村
9月定例会	平成23年度遠賀町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	欠	(議長)
	平成24年度遠賀町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	欠	

※全員一致の議案は除いています。

基地対策特別委員会 レポート

9月21日

飛行障害松剪定後の状況と、松の幼木を補植した場所の調査を中心に行いました。その間、施設整備の進捗状況についても、説明を受けました。飛行障害松の剪定は、管制塔から滑走路エントラまで、視認障害があった付近を調査し、計画どおり剪定されたことを確認しました。松の補植については、芦屋基地植樹計画に基づき、平成23年度以降は、黒松またはスーパ黒松(樹高1~1.2m)の苗木を年600本程度を目標に植樹するよう



松の補植状態の確認

になっていきます。基地内と官舎地区において、部隊運用上や、今後施設整備等の影響がない余剰スペースへの補植を確認しました。目標以上の本数が補植され、植樹後の維持管理も行われています。施設整備は、格闘場完成。教育実習場11月完成予定。その他の施設は、東日本大震災の影響で、白紙になったとの説明がありました。最後に、13教団救難隊の使用機種を見せていただき、団司令と飛行隊長から、詳しく説明を受けました。



学校給食での地産地消の取り組みは



はぎもと えつこ
萩本 悦子



遠賀町産夢つくしや野菜を使用している
今後も積極的に利用していきたい



給食の時間は、食育指導の生きた教材の場

米飯給食の拡大

議員 学校給食に地域の産物を利用することは、食育の推進から大変重要なことだ。地産地消を拡大するため、現在の米飯給食の回数を週3回から4回にしてはどうか。

教育長 給食運営委員会が昨年行った保護者アンケートの結果、今までどおりでいいとの結果がでていいる。

また、毎月、1週のみ、米飯給食を4回行っている。

議員 基幹産業が農業である本町において、本気で地産地消を考えるなら、米の消費を拡大すべきだ。

米のブランド化の取り組みとして、「夢れんげ」が売り出される予定だが、本町の子どもたちに地元で作られ

た米をたくさん食べてほしい。

町長 教育委員会で米飯給食を週4回やろうという結論が出れば、米を確保しなければならぬ。生産者と「給食に回す米の量が確保できるのか」を協議しなければならぬ。

議員 教育委員会とまちづくり課が連携して、米飯給食週4日実施についての調査研究を行っていたらきたい。

しそジュースの利用

議員 現在、町民の皆さんにしそジュースの試飲をしていただいているが、商品化の見通しは。

町長 来年度からの販売に向けて、現在、価格設定等のため、試飲を行っている。商品化の見通しは立ったと考えている。

議員 商品化の見通しが立っているなら、給食に利用してはどうか。

教育長 子どもたちに、しそジュース特有のしぶい味が嗜好的かどうか。

衛生面、価格面からクリアできれば、地産地消の面からいいと思う。

学校教育課長 衛生面、価格面から供給できるのであれば、年4回、地元の食材を使った給食を提供している「地元の日」に取り入れたい。夏休みの親子料理教室で試飲していただきたい。

議員 学校給食をうまく使えば、地産地消の拡大につながる。米飯給食の週4回実施や地元産のしそや蜂蜜を使ったしそジュースのさらなる取り組みを促進していただきたい。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.onaga.lg.jp/>)で公開します。

一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。



おだ たかのり
織田 隆徳



通学路危険個所の計画的・優先的改善の考えはないか



すぐにできるもの、中長期的なものに分け、計画的に実施をする



信号機の設置が必要な、遠賀中学校と折尾愛真グラウンド間

消費税の増収はどのくらいになるか

議員 消費税増税法案

が成立し、現在5%の税率を平成26年4月から8%に、平成27年10月から10%に引き上げられる。本町は、どのくらいの増収になるのか。

町長 消費税10%の場合、地方消費税分として

地方への配分が12%増えるので、推測では2億4000万円の増収と地方交付税0.34%分6000万円を合わせて3億円の増額が見込まれる。

増収分の用途は、社会保障の充実に

議員 消費税の引き上げには国民の不満が多い、医療や保育園・幼稚園、高齢者の日常問題など社会保障の充実に

充たすべきである。

町長 医療、介護、子ども・子育ての社会保障4分野の事業を基本に充たす。

議員 社会保障の充実に

を図らなければ、消費税増税に対する住民の納得が得られないと考える。今後の事業展開に期待する。

通学路危険個所の解消方法は

議員 県内小中学校の

9割で、通学路に危険個所があると調査結果がでている。本町の危険個所と、その解消方法を示されたい。

教育長 ①島門小学校は、

遠賀中学校と折尾愛真グラウンド間の国道3号線交差点で、信号機の設置を警察署にお願いしている。

②広渡小学校は、島

門小学校から出合いのかけ橋間と西川護岸堤防、大久保・重広線で、

路側帯のカラー塗装と学童注意の路面標示を考えている。

③浅木小学校は、蓮

角団地の西側町道で、路側帯のカラー塗装と学童注意の路面標示を考えている。

④遠賀中学校は、島

門小学校正門側の町道とバスコタウン西側の町道山手線、国道3号線両側道である鬼津・若松線。

⑤遠賀南中学校は、

西川護岸の木守・老良線と浅木・底井野線、ナギノ線で、対策を検討中である。

議員 すぐにできる分

や中・長期的なものに分けて改善計画を立てるべきだ。また、町の道路改良では優先的に事業実施をすべきだ。

教育長 計画を立てて実

施をしていきたい。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.ongak.jp/>)で公開します。



来年行われる高校総体の受け入れ体制は大丈夫か



はま おか みね さと
浜岡 峯達



先催地の進捗状況に遅れることなく、当初の事業計画に沿って進めている



急がれる河川敷の環境整備

高校総体受け入れ体制のロードマップを示す

議員 受け入れ体制で、町長と教育長の考えを問う。

町長 よくぞ遠賀町にお越しいただきましたという形でおもてなしの一声運動に徹して行きたいと思っている。

教育長 過去の開催地の進捗状況に遅れることなく、今年度の事業計画に沿って進めている。

議員 全国から将来に夢を持った青年がこの町に来るのだから、心からのおもてなしをすることが大事だが、本町ではどのくらい経費がかかるのか。

生涯学習課長 全体運営費の3分の1が本町で持つようになるので、概算で1000万円ほどの負担がかかる。

議員 高校総体のポ一

ト競技を本町でやるのだというアピールをもう少ししたらどうか。

町長 住民の皆さんが何とかおもてなしができるのなら、考えていかなければならないだろう。

河川敷周辺の環境整備は

議員 河川敷周辺の環境についてどのように感じているのか。

町長 本町は河川敷を国交省への占用願いの中で活用しているが、草も生えてきちっとした整備がされていない部分も確かに感じている。

議員 水巻側の河川敷が整備されているのに本町の方は見劣りし、景観を損ねている。路面の改修などに対して、積極的に働きかける意志はないのか。

町長 環境問題、ごみの問題を含めて取り組

まねばいけないと思っている。河川敷に関しては引き続き景観を保っていくよう、草刈り、整地等があれば国にお願ひしていきたいと思っている。

議員 対岸水巻側には簡易トイレや東屋等があるが、本町のほうにはないので雨が降ったりすると緊急の避難場所がない、これらの設置をぜひやっていただきたい。

町長 河川公園としての位置付けをしていないので、東屋やトイレの設置は、無理な状況になっている。漕艇競技を行うための河川敷の不備なところは引き続き要望をしていく。

議員 今、どういう状況に置かれているかを認識してほしい。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.onaga.lg.jp/>)で公開します。

一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。



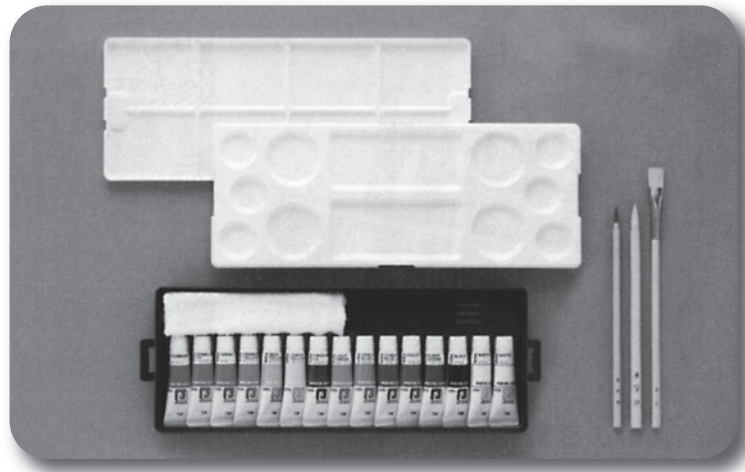
かた だ しげる
堅田 繁



就学援助制度を 周知徹底すべきだ



制度を案内する文書などを全保護者に配布することで、改善を図る



絵の具セットも就学援助の対象

小中学生248人が
制度を活用

議員 全保護者に就学援助制度（以後は制度）を分りやすく知らせるための周知努力を、今後どのように改善するのか。

教育長 まず、新年度より、1年生全員に制度を紹介する文書を配布する。次に、新年度当初の学校だよりに、制度の内容を掲載する。

さらに、幼稚園児などの体験入学の際に制度紹介の文書を保護者に配布するなどの改善を行い、全保護者に周知できるようにする。

議員 これまでは、年に一度、広報誌で案内するだけで、周知の方法が不十分だった。今回の改善で、年に一度は、全保護者に制度の案内が届くことになるのか。

教育長 そのとおりだが、幼稚園児の体験入学のときに、参加できなかった世帯にどう対応するかは、今後の課題だ。ただ、周知徹底はしたい。

議員 町内小学校の児童940人。中学校の生徒1390人のうち、17.8%に当たる248人が制度を活用している。

このことから、子育て世代の暮らしの厳しさが深刻化している様子がうかがえる。

保護者にとって、制度をより活用しやすい制度にし、子育て世代の経済負担の軽減をはかるためにも、制度の補助対象にクラブ活動費、生徒会費、PTA会費の項目を追加する考えはないか。

教育長 確かに、2010年に新たにクラブ活動費生徒会費・PTA

現在は追加してないが、学校教育法第19条では、「就学困難な児童・生徒の保護者には、必要な援助を行う」と規定されているので、今後、町長部局と十分に協議させていただきたい。

(注) 就学援助制度
経済的に困窮する小中学校の保護者に、市区町村が援助する制度。
学用品代や虫歯や中耳炎といった病気の治療を受けた際の医療費などがある。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.ongak.jp/>)で公開します。



ブランド化事業の進捗とおながめしブログの活用は



ふるの おさむ
古野 修



安心・安全な「夢れんげ」の販路を開拓し、ブログの拡充も指示している



「夢れんげ」の圃場

農産物ブランド化事業

議員 遠賀町ブランド米の進捗状況を尋ねる。

国産を使用することに理解できない。
まちづくり課長 原価を下げたいとの思いで使用した。安易だったと反省している。

町長 減農薬・減化学肥料栽培米「夢れんげ」として学校給食用280俵、販売用310俵確保している。

今後の販売については検討する。

議員 県基準の減・減米はスタンダードになりつつある。本町独自のブランド米とするならばより厳しい基準を確立するべきだ。

議員 本町の養蜂農家（遠賀町産れんげ蜂蜜）の蜂蜜を使用してこそ、本物の遠賀町ブランドになる。地産地消・地産地食にも関連する。

まちづくり課長 今後、ブランド化として競争力を高めるために厳しい基準は検討する。

おながめしブログの活用は

議員 しそジュースに含まれている蜂蜜は、外国産なのか。

議員 現在の活用状況について尋ねる。

まちづくり課長 今回使用した蜂蜜は中国産。量販店で購入した。

町長 重要な情報の発信ツールとして位置付けている。24年度においては情報の更新、新たなコンテンツの作成、事業との整合性がなされていない。ブログの充実と活用の促進について指示をした。

議員 22・23年度事業（雇用促進）の一環として始めたものだが、継続性を持って事業展開するべきだ。

行政総務課長 町勢要覧の作成の折に、町内の魅力などの情報を担当課にしっかりと引き継ぎを行う。

まちづくり課長 最新の情報を提供できるように速やかに進めていく。

議員 今、できることはすばやく対応し、無駄にならないように、町民の皆さんに対し、しっかりと説明できる事業、進め方を考えていくべきだ。

町長 スピード感をもってやるということ、一番大事なことだ。再度徹底していく。

確立していく上で外

議員 ブランド化として確立していく上で外

（注）県基準の減・減米 一般的な米の栽培に使用する農薬や化学肥料の5割減とする栽培法。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.onaga.lg.jp/>)で公開します。

一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。



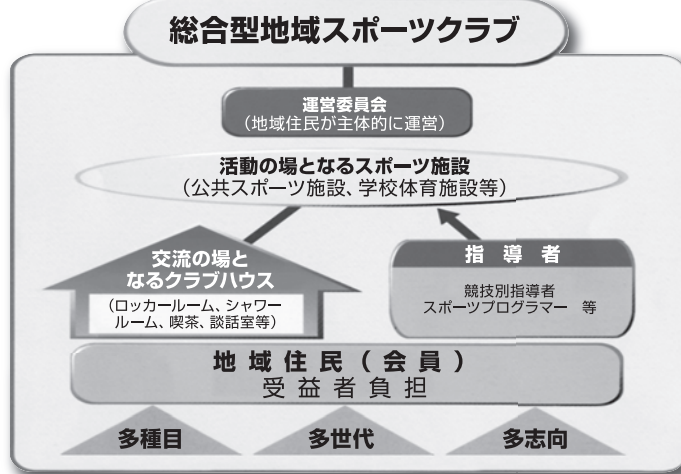
はぎ お 萩尾
おさ み 修身



どのような総合型地域 スポーツクラブを目指すのか



町民の皆さんの体力向上、コミュニティの育成を図っていくことを目標としている



総合型地域スポーツクラブのしくみ

準備委員会の方向性は

議員 総合型スポーツクラブ（以後は総合型）はいろんな方々を巻き込んだ上でないと成り立たない。この先、運営委員会、指導体制の確立、啓発活動はどのように進めていくつもりか。

生涯学習課長 企画をした方向付けをするところという核の部分の準備委員会だと考えている。これからのいろんなイベントを行いながら体制を整えていく。

これからの取り組みは

議員 町民に対しての啓発活動を考えた時、皆さんに納得していた関係者が核になるといいう状況を作らなければ将来的に大変危ういと思うが。

教育長 幼児から高齢者までずっと運動し続ける町民を一番に目指している。この理念をわかってる人を設立準備委員として入ってもらっている。

議員 総合型が取り組む「多世代」「多種目」「多志向」を考えた時、新規事業を考えるより現在、各地域で活動しているクラブを1つの組織に作り上げ横の連携を持たせることで、新規加入者に対して幅広い受け皿ができ、町にふさわしい総合型ができるかと考えるが。

町にふさわしい総合型を目指すべき

議員 1人でも多くの方にスポーツに親しんでほしい。

生涯学習課長 現段階ではスポーツをしていない人をいかにしてスポーツに引き込むかに力をつけていく。

教育長 地域の皆さんと行政がそれぞれ核となつて協力していく。

議員 今回の鈴木選手活躍に刺激されて1人でも多くの方がスポーツに励んでいただきたいと考える。自分の年代に応じたいろんなスポーツがある。それにチャレンジしてほしい。また、その一助となるような総合型の設立を望む。

(注) 総合型地域スポーツクラブ

「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」スポーツや文化活動を楽しめるクラブ。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.ongak.jp/>)で公開します。

全国市町村交流しガツタ大会

9月29日(土)、30日(日)に今年も昨年と同じ会場の、城崎温泉(きのさき)で有名な兵庫県豊岡市で開催されました。

この日の大会に向け、約1カ月前から応援も含め、議員全員参加で練習に励んできました。漕艇競技は、漕ぎ手全員が息を合わせて漕ぐことが、スピードを出す秘訣です。このこ



息を合わせてゴー

「マンホール(壮年男子の部)」「べっぴんしやくん(壮年女子の部)」の3チームが出場しました。全国のレベルは高く、議会チームは、今年も決勝進出でできませんでしたが、「マンホール」が第3位に入賞し、今年の大会は終わりました。議会チームもさらに練習を重ね決勝進出できると張り切ります。



傍聴者から一言

9月6日に行われた一般質問には、寿大学の受講生の皆さんが、議会の傍聴に訪れました。初めての感想を紹介したいと思います。皆さんなかなか真剣に討議されていて、住民として安心しました。いい議会だと思いました。



寿大学の皆さん

「初めてこの議会傍聴で、初めの議会傍聴で、皆さんなかなか真剣に討議されていて、住民として安心しました。いい議会だと思いました。」「自分が想像していたよりは、緊迫していません。回答者がもう少しマイクを意識して話してもらえると、もっと聴きやすかったと思います。議員さんがよく勉強されていて、核心を突いた質問をされていたと思います。」

12月です。

今回の定例会は

お気軽に傍聴にお越しください。

詳しい日程は11月下旬に遠賀町ホームページでお知らせします。

議会だよりに関するご意見ご感想をお寄せください。

遠賀町議会事務局 TEL 093(293)1235
e-mail: gikaijimukyoku@town.onga.lg.jp



酷暑の夏が過ぎ、虫の音に耳を傾ける季節になりました。

さて、9月定例会では、平成23年度の決算の審査・認定が行われました。

決算審査とは、私たち議会が、決定した予算が適正に効率的に執行されたかどうかを審査し、その結果が今後の予算編成に反映されるものです。

決算書や事業実績報告書、監査委員意見書の3冊をにらみながら、数字と格闘した毎日でした。

平成23年度も医療費は、大きく増え続けています。今日のような高齢化社会では、医療費を抑制するためには、どうすればいいのか：大きな課題です。

萩本 悦子

遠賀議会だより

発行責任者

議長 奥村 守

広報調査

特別委員会

委員長

萩本 悦子

副委員長

平見 光司

委員

織田 隆徳

仲野 新三郎

加藤 陽一郎

萩尾 修身